



☆羅針盤 No.68

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

東京近郊では錦秋本番はこれかという10月24日夜、冬の始まりを告げる「木枯らし1号」が吹いたと発表がありました。8日は立冬です。日中は気づきませんが、一步一步冬に近づいているのでしょうか。
 例年146本の銀杏並木が300mの明治神宮外苑道路を彩り、青山通りから眺めると、絵画館までの黄金ロードは絵のような美しさになり、秋深しと、にわか芸術家になりますが、その時期は大抵11月末ですから、初冬なのです。すなわち木枯らし舞う中、イチョウの葉が吹雪のように舞い散る光景も見られるようです。
 ああ、猛暑からは想像もつきませんが、既に北海道からは雪の便りも届いています。今年の冬は厳冬でしょうか、それとも暖冬？ ガソリンの価格は低くなってきましたが、東日本大震災の被災地を思うと、厳冬にならないことを祈らずにはいられません。



東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



☆羅針盤

- 鉄スクラップ → 考察) 10月は指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格が17,000円/トンでスタート、最終的には15,500円。10月10日で下げ止まりましたが、11月は湾岸の価格、鋼材の値下げから見てもさらに下がると考えられます。
- 銅 → 考察) 10月はLME1,680ドル/トン台、国内銅建値 670,000円でスタート。LME価格は日替わりで乱高下している状況が続いています。為替が円高に進めば多少の上げも見込めますが、中国の景気の動向から見えるのは、多少の上げ下げはあっても、横ばいでしょう。
- アルミ → 考察) ここ数カ月下げが進んでおり、10月はLME 1,570ドル/トン台でスタートし最終的には1,460ドル/トン台へ下落。下げの要因としては、中国の供給過剰によるものと考えられます。11月も上物・裾物ともに下がらざるを得ないでしょう。
- プラスチック → 考察) 主要輸出先である中国の買い意欲が薄く、相変わらず品位に厳しくなっている。11月は価格の下げもあると思われます。

10月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | ○ | アルミ | ○ |
| 銅 | × | プラスチック | ○ |

鉄・非鉄スクラップ・市況からの11月予測

営業部 Y の考察

☆羅針盤

日銀短観と産業廃棄物処理業景況動向調査

よく耳にする日銀短観又は単に短観(タンカン)とは正式名称を「全国企業短期経済観測調査」といい統計法に基づき日本銀行が行う統計調査です。短観は、全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的としています。全国の約1万社の企業を対象に、四半期ごとに実施しています。

短観では、企業が自社の業況や経済環境の現状・先行きについてどうみているか、といった項目に加え、売上高や収益、設備投資額といった事業計画の実績・予測値など、企業活動全般にわたる項目について調査しています。短観は、国内外で利用されており、海外でも「TANKAN」の名称で広く知られています。

産業廃棄物処理業でも、同様の調査を全国産業廃棄物連合会が行っており「産業廃棄物処理業景況動向調査結果」として公表しております。

両調査とも結果を指数化して判断しており、「D.I.」(Diffusion Index ディフュージョン・インデックス)という指標を使っております。D.I.は企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したものです。D.I.は、各判断項目について3個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答社数を単純集計し、全回答社数に対する「回答社数構成百分比」を算出した後、次式により算出しています。

$$D.I. = (第1選択肢の回答社数構成百分比) - (第3選択肢の回答社数構成百分比)$$

(D.I.算出の例)

企業の収益を中心とした業況について全般的な判断を問う質問では(1)良い、(2)さほど良くない、(3)悪い、の3つの選択肢があります。例えば、回答が以下のような場合の業況判断D.I.は、△5%ポイント(注)となります。

| 判断 | 回答社数 | 回答社数構成百分比 |
|-------------|------|-----------|
| (1) 良い | 40社 | 20% |
| (2) さほど良くない | 110社 | 55% |
| (3) 悪い | 50社 | 25% |
| 合計 | 200社 | 100% |

業況判断D.I. = (1)-(3) = (20%) - (25%) = (△5%ポイント)
 (注)「%ポイント」は、構成百分比(%)同士の差を示す単位です。

では、日銀短観での2015年9月調査時の業況はどうでしょうか？ 全産業では6月時に比べて(+7)から(+8)で1ポイントのアップに留まり、12月時の予測では(+5)で9月時に比べて-3ポイントと景気が思わしくない様子が分かります。

産業廃棄物処理業はどうでしょうか？ 公表されている2015年4-6月期の景況判断は(-27)で、1-3月期の(-21)に比べて-6ポイントとさらに悪化し、7-9月期の予測では(-26)で何とか1ポイントの回復となっておりますが、D.I.のマイナス値が大きく、厳しい状況が続くようです。
 参考: 日銀短観 <https://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/>
 公益社団法人全国産業廃棄物連合会
<http://www.zensanpairen.or.jp/federation/02/06/>



不動産屋奮闘記

第2回

初任給がどの職種と比べても高いという、安易な理由で入社した広島にあるマンション・デベロッパーの営業方針が変わった事で、部長から「課長や主任クラスを連れて独立するから一緒に来ないか」と誘われたことを契機に、当時独身で身も心も軽かった私は二つ返事でついでにしました。

独立した会社は現場を持っていなかったため販売できる物件がなく、社長の先輩が広島県で販売代理業をしていた事を頼りに、広島県で新築マンションの販売をさせて貰える事になりました。

休日には、広島で「お好み焼き・野球観戦など」を楽しめるであろうとの期待と、「仁義なき戦い」を思い浮かべての不安の中で、渡された新幹線の切符は岡山止まりでした。岡山ではなく広島では？と社長に聞いたところ、一緒だろと一蹴され、半年間岡山県でマンション販売。次こそ広島と言われ、辿り着いた所が広島県福山市。またしても期待を裏切られ半年間頑張りました。その後、やっとの事で広島市の物件に着任しましたが、全くお客様の来ない現場で、ひたすら朝から晩まで電話営業か訪問営業。名簿は無くランダムに、ひたすら電話電話電話。耳が痛くなり、FAXに掛けた時の「ピーー」という音が頭から消えなかったりと、今思えば荒行の数々でした。ですが、それまで地方の小都市で生活をする事も観光で行く事もなかった私は、時間がある時は会社の車を借りて、同僚と観光名所めぐりや産地の美味しい食べ物を食べたりすることが出来たので、悪い思い出ばかりではありませんでした。

東京に戻ってからは、販売代理業や、中古マンションを買取りノベーション販売、仲介業を行うなど、事業は順調でしたが、やがて10数名で始めた会社から独立する者・結婚する者・社長との確執で辞める者もあり、創業7年程で社長と私、同年齢の同僚の3名になっていました。

その頃から資金繰りが良くなり、給料の遅れ・交通費の未払いが起り、休日は月に2・3日という日々が1年近く続きました。当時、プライベートの私は、広島から戻ってすぐに現在の嫁と出会い、数年間付き合い結婚、子供が生まれたばかりでした。

この先の不安を思うと転職しなければと思ひ、就職活動を始めた矢先に唯一の同僚が広島で出来た彼女と結婚して、奥さんの家業を継ぐから辞めると言いだし退社。社長と二人きりになったため、東港金属に就職が決まっても辞めると言うのが言い出しにくかった。東港金属での仕事が始まり通勤を始めてから、子供が生まれると連絡を受けた場所が、なんと現在の東京事務所のすぐ近くだったという事に気づき、驚きました。

全くの異業種からの転職でしたが、丁寧・親切にいろいろな事を教えてもらうことが出来、やっと1年半になりました。今後さらにお客様に役に立つ情報を身に付け、皆さんに愛される営業マンになれるように日々懸命に勉強致しますので、これからも何卒宜しくお願い致します。(了)
 (営業部 営業二課) 五十嵐 純